

～下記の研究を行います～

『インスリン療法が継続困難な患者の退院支援と退院調整の実態調査～退院支援看護師としての課題～』

【研究責任者】看護部 地域医療連携室 看護師 喜多 優

【研究の目的】インスリン療法が継続困難な患者の退院支援と退院調整の実態調査を行い、今後の課題を明らかにすることで、患者が安全に療養生活を送ることができるように、退院支援看護師として具体的な支援を見出すことを目的とする

【研究の期間】研究許可日～2027年3月31

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2023年4月1日～2024年3月31日の期間に当院に入院していた、支援者がいないADL自立の認知症疑いもしくは認知症高齢者でインスリン療法の継続が必要な患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から以下の情報を収集します。

1) 患者側の要因

入院期間、入院区分（緊急、予定）、年齢、性別、家族構成、認知症老人の日常生活自立度、介護度、在宅医療や介護保険の利用の有無、インスリン回数、患者・家族の意向等

2) 医療者側の要因

退院支援カンファレンスの時期、問題指摘時期（入院日からの日数）、問題を指摘した職種、多職種カンファレンス開催の有無、退院前カンファレンスの開催の有無、ICの有無等

3) 在宅側の要因

在宅からの情報提供の有無、療養先（施設）でのインスリン療法が対応可能かの有無等

【情報等収集開始日】2025年1月14日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。が、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 看護部 地域医療連携室 看護師 喜多 優